

3分で納得！暮らしの中に学び在り*

“体育会系新入社員”の恩人

2015/06/22

* 本レポートは丸紅グループ広報誌『M-Spirit』及び同・広報サイト『MS+』に寄稿した内容です。
その後の状況変更等の理由で一部加筆修正していることがあります。

早稲田大学の史上最多 44 回目の優勝（注 1）で先日幕を閉じた東京六大学野球春季リーグ戦。伝統の早慶戦を盛り上げた秀逸なポスター（注 2）や東京大学の連敗ストップ（注 3）も話題になりました。

「打者」「四球」等の野球用語を和訳したのが、自ら名キャッチャーとして活躍した正岡子規なのは有名で、丸紅本社ビルにほど近い学士会館にある「日本学生野球発祥の地」のモニュメントをご覧になったかたも多いでしょう。

では、部活や行事としての運動会、スポーツマンシップをわが国に導入したのが、たった 1 人の英国紳士の功績であることはご存じでしょうか？丸紅 OB の高橋孝蔵氏（注 4）がその人物を詳しく調査され、著書『倫敦から来た近代スポーツの伝道師 お雇い外国人 F.W.ストレンジの活躍』（注 5）にまとめられましたので、その内容をご紹介しますながらお話ししましょう。



●今年の早慶戦を盛り上げたポスターの1つ。
資料提供：慶應義塾大学応援指導部

1. 英国から近代スポーツを伝えたジェントルマン



●「日本学生野球発祥の地」のモニュメント



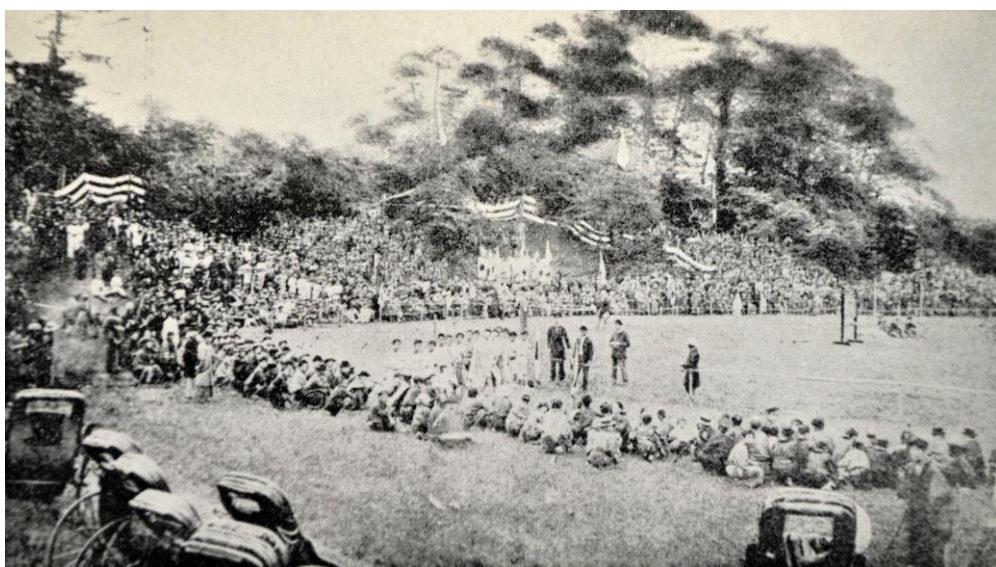
●丸紅本社ビル周辺図

ストレンジは、1875 年、21 歳で日本にやって来て、当時は丸紅本社ビルすぐ北隣の興和一橋ビルの場所（神田錦町三丁目）にあった東京大学予備門等で「お雇い外国人」として教鞭を執りました。35 歳の若さで心臓発作で没し日本の土となるまでの間、彼は次の 3 つの大きな功績をわが国に残しました：

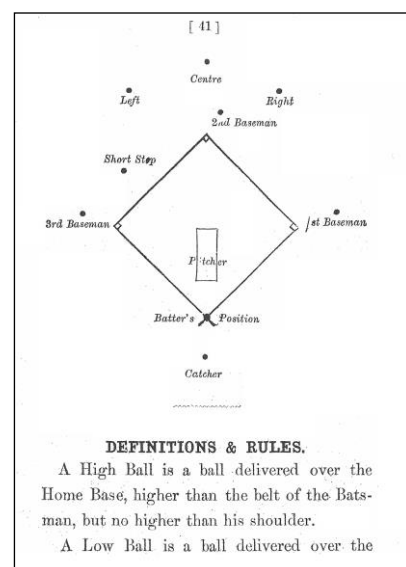
- 今日でいう「部活」の考え方を導入し、最初に組織作りを行った。
- わが国初のスポーツ・ガイドブック『OUTDOOR GAMES』を著し、幅広いスポーツを紹介した。
- 自らもスポーツマンとして各種競技に参加し、「スポーツマンシップ」を教えた。

運動どころではなかった明治維新直後のわが国において、粘り強くボートや陸上競技等を学生に教え、ストレンジは遠い異国のスポーツ文化の礎となったのです。

2. 運動会と部活の父

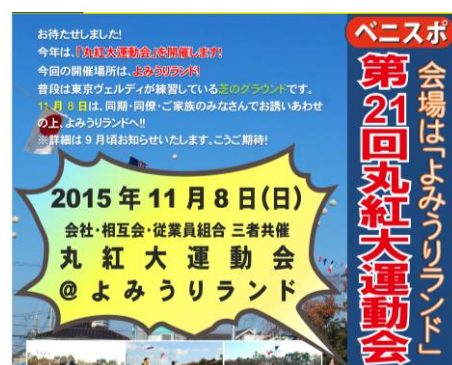


- ストレンジが主唱して開かれた東京大学と予備門合同の運動会
（写真は明治 19 年のもので、会場は本郷移転後の校地）。
写真協力：公益財団法人日本体育協会「スポーツ八十年史」



- 『OUTDOOR GAMES』の
野球解説ページの一部
資料提供：高橋孝蔵氏

当時の外国人の中にもスポーツの技術だけを教える人は多かったのですが、スポーツマンシップを語り、学生達がスポーツを常時行えるような組織・基盤を作ったのはストレンジだけです。幼稚園～高校はもとより丸紅でも開催している運動会が全国に広まるきっかけとなったのは、1883 年 6 月 16 日に神田錦町で開催された東京大学・予備門合同の陸上運動会でしたが、これを大学当局に働きかけ、企画・準備したのもストレンジです。



- 丸紅（株）では今年 11 月 8 日に
社内運動会を開催する。

さらに、彼はこうした運動会を定期的に運営して行くための組織作りにも奔走し、1886 年東京大学（帝国大学）に組織としての運動会（他大学の体育会に相当）が発足しました。これが、現在の小中高の部活の原型となったのです。現在東京大学運動会には 46 の部が所属（注 6）していますが、特に、野球部と漕艇（ボート）部については、ストレンジが開祖であると言われています。

3. 丸紅（株）新入社員の 4 割は「体育会系」

さて、丸紅グループ広報サイト「MS+（エムエスプラス）」では、丸紅の新入社員の自己紹介を掲載し、毎年人気コーナーとなっているそうです。2015 年度の総合職新入社員 139 名の自己紹介を調べてみたところ、56 人が大学時代に体育会・運動会系の部（サークルは含まない）に所属していた（うち東京六大学チアリーダーも 2 名）と書いています。



●丸紅グループ広報サイト「MS+」の人気企画。
新入社員紹介記事のバナー

自己紹介に書くということは、部活を通じて得られたものが大きかったと実感しているということではないでしょうか。それらの新入社員の皆さんにはぜひ丸紅大運動会を大いに盛り上げつつ、わが国の運動会や部活の父であるストレンジの大きな功績に感謝していただきたいと思います。

（注 1）法政大学と並んだ。なお、今回の早稲田大学は対戦校すべてから勝ち点をあげる完全優勝だった。

（注 2） 5 月 30、31 日の早慶戦用に 5 種類のポスターが作られた。いずれも両校の挑発的なかけあいとなっており、ネットで話題となった。「チアリーダーバージョン」では、早稲田大学側が「ビリギャルって言葉がお似合いよ、慶應さん。」、慶應義塾大学側が「ハンカチ以来パツとしないわね、早稲田さん。」と火花を散らしている。

（注 3） 5 月 23 日の対法政大学一回戦に勝利し、連敗を 94 で止めた。なお、その前の勝利は 2010 年 10 月 2 日に早稲田大学の「ハンカチ王子」斎藤佑樹投手（現北海道日本ハムファイターズ）に初黒星をつけた試合だった。

（注 4） 1936 年広島県生まれ。丸紅に入社し、シベリア開発を含めたロシア貿易を担当。その後、最先端技術の輸出、映画・CATV 等新規事業に携わる。サテライト・ジャパン（現スカパーJSAT の前身の 1 つ）を経て松竹に勤務された。

（注 5） 小学館 101 新書。2012 年 6 月 1 日初版発行。

（注 6） 平成 26 年 6 月 26 日制定「東京大学運動会会則」に拠る。剣道（たいどう）部という聞き慣れない部も。

担当	チーフ・アナリスト 松原 弘行	T E L : 03-3282-3507 E-mail: Matsubara-Hiro@marubeni.com
住所	〒100-8088 東京都千代田区大手町1丁目4番2号 丸紅ビル12階 経済研究所	
WEB	http://www.marubeni.co.jp/research/index.html	

（注記）

- ・ 本資料は公開情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、相当性、完全性を保証するものではありません。
- ・ 本資料に従って決断した行為に起因する利害得失はその行為者自身に帰するもので、当社は何らの責任を負うものではありません。
- ・ 本資料に掲載している内容は予告なしに変更することがあります。
- ・ 本資料に掲載している個々の文章、写真、イラストなど（以下「情報」といいます）は、当社の著作物であり、日本の著作権法及びベルヌ条約などの国際条約により、著作権の保護を受けています。個人の私的使用および引用など、著作権法により認められている場合を除き、本資料に掲載している情報を、著作権者に無断で、複製、頒布、改変、翻訳、翻案、公衆送信、送信可能化などすることは著作権法違反となります。